



「修学旅行」 (10/24の全校朝会での話より)



修学旅行って何なんでしょう。いろんな説があるようですが、今から140年ほど前、明治時代の初め頃に、関東地方の学校ではじまったようです。軍隊の訓練としたり、何日もかけて歩いて移動し、その先で自然を観察しながら理科の勉強のようなことをしたそうです。現在は全国の小学校・中学校・高校のほとんど全ての学校で修学旅行が実施されています。行き先については様々ですが、中学校や高校では、最近は海外に行くところも増えているようです。小学校の修学旅行の行き先も、地域によって様々ですが、全国の小中学校で一番多い旅行先は、実は「奈良・京都方面」です。特に中学校においては、全国の7割近い学校が、奈良・京都に来るそうです。奈良に住んでいる私たちは気づきにくいかもしれませんが、奈良にしかない貴重なものがたくさんあり、歴史や文化を学ぶことのできる場所なのです。

さて、私たち三和小の修学旅行ですが、11月4日～5日、和歌山方面に行ってきました。1日目、「稲むらの火の館」で、地震と防災についての学習をし、「白浜エネルギーランド」で、資源や環境についての勉強をしました。白浜で宿泊し、2日目は「三段壁洞窟」を見学し「白浜アドベンチャーワールド」で過ごしました。天候にも恵まれ、大きな事故やケガもなく、とても良い修学旅行であったと思います。6年生にとっては、これでまた一つ、小学校での大きな行事が終わりました。これから先、卒業までの貴重な一日一日を、しっかりと過ごしてほしいと思います。



なかよし参観



10月14日(金) 午後の授業参観に先立って、その日の午前中に「なかよし参観」を行いました。なかよし学級のみなでつくったポップコーンをメニューにカフェを開いて、注文をとったり値段を計算したり商品を配ったりしながら、店員としてのお客様への接待を経験する中で、いろんなことを学びました。

秋の遠足

10月21日(金)は秋の遠足の日でした。1年生は「石川河川公園(大阪府羽曳野市)」、2年生は「森岡みかん園(天理市)」、3年生は「上ノ太子みかん園(大阪府南河内郡太子町)」、4年生は「奈良県浄化センター(大和郡山田市)」、5年生は「奈良公園(奈良市)」に行きました。さわやかな秋空の下、電車と徒歩でそれぞれの目的地に向かい、普段できない学習や体験をしました。空には一面にひつじ雲が広がっていました。



文化鑑賞会



11月10日(木)は文化鑑賞会。今年は東京から「劇団あとむ」に来ていただき観劇をおこないました。低学年と高学年に分けて、午前午後の二分割で実施しました。上演されたのはアンデルセンのたくさんの中から選ばれた二つの物語を、歌とアニメイムで表現された音楽劇です。アニメイムというのは「アニメーション」と「パントマイム」からの造語です。身近にある棒とボールと輪を使って、目の前の空間に風景や動物の絵を描いていきます。ときには視覚のトリックのような動きに、子どもたちから歓声とどよめきが上がっていました。「人生で3度読め」といわれるアンデルセン童話。大人になってから読み返すと、子どものときに読んだのとはまた違う感動があるようです。ちなみに私は20歳くらいのときに本屋さんでアンデルセン童話集を買って、読み返したのを覚えています。